

- 問1 1919年ごろの地形図において、現在の東京都渋谷区松濤付近は「鍋島農場」と呼ばれていました。当時のこの地点で主に見られた土地利用として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|---------|--------|-------|
| 1. 水田 | 2. 針葉樹林 | 3. 果樹園 | 4. 荒地 |
|-------|---------|--------|-------|
- 問2 さいたま市の人口統計において、常住する「夜間人口」が「昼間人口」を上回り、昼夜間人口比率が約93.0%と100%を下回る主な理由は、どのような背景によるものか。適切な説明を選びなさい。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 周辺の東京都などへ通勤・通学する人が多く、昼間に市外へ流出する人口が流入する人口より多いため | 2. 高齢化の影響により、市外へ働きに出る現役世代が減り、日中も市内に留まる住民の割合が急増したため | 3. 商業施設が市街地の中央に集中しているため、近隣の県から買い物客が多く流入し、夜間人口が相対的に少なくなるため | 4. 大規模な工業地帯が形成されており、夜間に働く交代制の労働者が他地域から多く流入するため |
|---|--|---|--|
- 問3 東京23区の人口統計において、昼間の人口が1500万人近くに達し、夜間の居住人口を大きく上回っている状況が見られます。その一方で、埼玉県や千葉県などの周辺の県では、夜間人口の方が昼間人口よりも多くなっています。このような人口移動が起こる主な理由として、適切な説明はどれですか。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 周辺の県から東京23区へ向けて、通勤や通学による大規模な人口の流入があるため | 2. 東京23区の出生率が周辺の県と比べて極めて高く、日中の乳幼児人口が多いため | 3. 周辺の県では近年、大規模なオフィス街の整備が進み、夜間に居住する人が急減したため | 4. 東京23区に居住する人々が、日中に周辺の県の工場や農地へ働きに出るため |
|---|--|---|--|
- 問4 千葉県木更津市の沿岸部において、かつての地形図では海であった場所に「築地」という地名や大規模な工場、港湾施設が確認できるようになった背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 地球温暖化による海面低下の影響で、もともと海底だった場所が自然に陸地化したため。 | 2. 大規模な干拓事業によって、農用地としての利用を目的に海水を抜き取ったため。 | 3. 工業用地を確保するために、遠浅の海を埋め立てて人工的な陸地を造成したため。 | 4. 地震による地盤の隆起によって、かつての浅瀬が広大な平坦地へと変化したため。 |
|---|--|--|--|
- 問5 日本の諸地域の配置において、東京都から見て北東の方向に位置し、太平洋に面した沿岸部を有しながらも、内陸県である栃木県や埼玉県とも隣接している県の名称として正しいものを選びなさい。 (2018年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 1. 福島県 | 2. 神奈川県 | 3. 千葉県 | 4. 茨城県 |
|--------|---------|--------|--------|
- 問6 都市の人口構造を示す「昼夜間人口比率（夜間人口を100とした時の昼間人口の割合）」について、東京23区のようにこの比率が100を大きく超える地域の特徴として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 郊外に大規模なニュータウンが形成されており、夜間に多くの人々が帰宅してくる居住機能が中心である。 | 2. 地価が安いため、中心部に住居が構える世帯が多く、夜間人口が昼間人口を上回っている。 | 3. 都市の中心部にオフィスや学校が集中しており、周辺地域から多くの人々を吸い寄せている。 | 4. 周辺の県に比べて農地や工場が多いため、日中に周辺地域へ働きに出る人が多い。 |
|---|--|---|--|
- 問7 日本の空港における旅客数の構成について、東京国際空港（羽田空港）の統計的な特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。国内線と国際線の利用状況の違いに着目して選びなさい。 (2020年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 地方空港とのネットワークを縮小しているため、旅客構成においては国内線よりも国際線の利用者が多くなっている。 | 2. 国際線の利用者が増加傾向にあるものの、旅客全体に占める割合は国内線の利用者が圧倒的に多い。 | 3. 都心に近い利便性から、国内線と国際線の利用者がほぼ同数となるよう計画的に運用されている。 | 4. 成田国際空港と比較して国際線の発着枠が多いため、旅客全体では国際線の利用者が国内線の利用者を上回っている。 |
|--|--|---|--|
- 問8 関東地方の台地に分布する火山灰由来の土壌は、水持ちが悪く稲作には適さないという性質があります。この土地条件と、東京などの巨大な消費地に近いという立地条件を組み合わせで発展した、この地域に特徴的な農業の説明として正しいものはどれですか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|--|---------------------------------------|
| 1. 水はけの良さを活かして、ホウレンソウやキャベツなどの野菜を育てる畑作 | 2. 水はけの悪い低湿地を利用して、れんこんなどの水生植物を育てる商作品作物栽培 | 3. 海岸沿いの砂地を利用して、メロンやピーマンなどの温室栽培を行う施設園芸農業 | 4. 保水力の低さを克服するために大規模な客土を行い、輸出用の米を作る稲作 |
|---------------------------------------|--|--|---------------------------------------|
- 問9 関東平野を貫いて流れ、日本の河川の中で最も広い流域面積を持つ一級河川の名称として正しいものを選びなさい。 (2022年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 利根川 | 2. 石狩川 | 3. 信濃川 | 4. 北上川 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問10 群馬県の大水上山に源を発し、関東平野を横断して太平洋へと注ぐ河川について、日本で最も大きい「流域面積」を持つ一級河川の名称として正しいものを選びなさい。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|-------|--------|
| 1. 石狩川 | 2. 利根川 | 3. 荒川 | 4. 信濃川 |
|--------|--------|-------|--------|
- 問11 1995年を基準とした人口変化の統計において、東京都中央区などの都心部で人口が急激な右肩上がりの増加に転じている背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 高度経済成長期に地方から都市部への人口流入が続き、都市全体の面積が郊外へ拡大したため。 | 2. 地方の過疎化を防ぐために、政府が大都市への人口集中を制限する政策を実施したため。 | 3. 都心部において工場跡地やオフィス跡地が再開発され、居住機能を持つ高層マンションが増加したため。 | 4. 多摩市などの郊外で大規模なニュータウン開発が行われ、若年層の移住が進んだため。 |
|--|---|--|--|
- 問12 日本の諸地域について学習する際、都道府県名と県庁所在地の名称が一致しない事例に注目することがあります。関東地方の群馬県において、県庁が所在している都市の名称として正しいものを選びなさい。 (2022年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1. 前橋市 | 2. 水戸市 | 3. 高崎市 | 4. 宇都宮市 |
|--------|--------|--------|---------|
- 問13 ある地域の地形を分析するために、北に位置する高い山の山頂から、南に位置する標高の低い市街地までを直線で結び、その線上の標高の変化をグラフ化した断面図を作成しました。この断面図を作成する際に、地形図から直接読み取る必要がある情報として最も適切なものはどれですか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|---------------|-------------|-----------|
| 1. 河川の流域面積 | 2. 等高線が示す標高の値 | 3. 市街地の人口密度 | 4. 道路の舗装率 |
|------------|---------------|-------------|-----------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 果樹園	大正時代初期の地形図を確認すると、現在の松濤周辺は「鍋島農場」として利用されており、地図上には果樹園を示す記号が広がっていました。この地名は、明治維新後に旧佐賀藩主の鍋島家が茶園や果樹園を営んだことに由来しています。当時の郊外農地が、その後の時代を経て現在の姿へと移り変わっていった歴史的背景があります。
問2	答え 1 周辺の東京都などへ通勤・通学する人が多く、昼間に市外へ流出する人口が流入する人口より多いため	さいたま市は、交通網の発達により東京都心へのアクセスが良いため、居住地としての役割（ベッドタウン）を強く持っています。そのため、夜間に市内に住んでいる「夜間人口」に対し、日中に仕事や学校のために市外（主に東京都）へ移動する人が多くなり、市内に残る「昼間人口」が少なくなります。昼間人口を夜間人口で割って算出する昼夜間人口比率が100%を下回るのは、こうした人口の流出が流入を上回っていることを示しています。
問3	答え 1 周辺の県から東京23区へ向けて、通勤や通学による大規模な人口の流入があるため	東京23区のような大都市の中心部には企業や官公庁、学校が集中しているため、周辺の埼玉県、千葉県、神奈川県などの「ベッドタウン」から多くの人々が通勤・通学してきます。この結果、中心部では昼間人口が夜間人口を上回る現象が起きます。逆に周辺の県では、日中に中心部へ人が流出するため、昼間人口が夜間人口を下回ることになります。
問4	答え 3 工業用地を確保するために、遠浅の海を埋め立てて人工的な陸地を造成したため。	木更津市の沿岸部における変容は、人為的な「埋め立て」によるものです。1960年代以降、日本の工業化を進める中で大規模な工場用地が必要となり、東京湾の遠浅な地形を利用して埋め立てが行われました。これにより、もともと海だった場所に工場や発電所が建設され、工業都市としての景観が形成されました。干拓は主に農業用地（水田）を作ることを目的とするため、工業用地主体の木更津市の事例には当てはまりません。
問5	答え 4 茨城県	茨城県は東京都の北東側に位置しています。隣接する県のうち、埼玉県と栃木県は海に面していない内陸県ですが、茨城県自体は東側が太平洋に広く面しており、漁業や臨海工業が発展しています。また、福島県（東北地方）とも北側で接しており、関東地方の北の玄関口としての役割を担っています。
問6	答え 3 都市の中心部にオフィスや学校が集中しており、周辺地域から多くの人々を吸い寄せている。	昼夜間人口比率が100を超える（昼間人口 > 夜間人口）ということは、その地域が仕事や教育の場としての機能を強く持っていることを意味します。東京23区や大阪市中心部などがその典型例です。一方、100を下回る（昼間人口 < 夜間人口）地域は、居住機能が強い「ベッドタウン（衛星都市）」としての性格が強いと判断できます。
問7	答え 2 国際線の利用者が増加傾向にあるものの、旅客全体に占める割合は国内線の利用者が圧倒的に多い。	東京国際空港（羽田空港）は、日本国内の主要都市を結ぶ航空ネットワークの最大の拠点として機能しています。近年は国際線の発着枠も拡大されていますが、統計上、旅客全体に占める国内線の利用者の長さ（割合）は国際線よりも数倍大きく、国内移動における重要性が非常に高いことが特徴です。
問8	答え 1 水はけの良さを活かして、ホウレンソウやキャベツなどの野菜を育てる畑作	関東ローム層に覆われた台地は水が得にくいいため、古くから麦や野菜の畑作が行われてきました。現在は高速道路網などの交通網の発達を背景に、新鮮な野菜を都市部へ供給する近郊農業が非常に盛んです。
問9	答え 1 利根川	この河川は、群馬県・栃木県・茨城県・埼玉県・千葉県・東京都の1都5県にまたがる広大な流域を持っており、その面積は約16,840平方キロメートルに達します。日本で最も長い河川は信濃川ですが、流域面積ではこの河川が日本最大です。「坂東太郎」という愛称でも知られ、関東地方の農業や生活を支える重要な水資源となっています。
問10	答え 2 利根川	関東地方を流れる利根川は、その流域面積が約1万6840平方キロメートルにおよび、日本の河川の中で第1位となっています。「坂東太郎」という愛称でも親しまれ、首都圏の生活用水や工業用水、農業用水を支える重要な役割を担っています。なお、日本で最も「長さ」が長い河川は信濃川であり、混同しないよう注意が必要です。
問11	答え 3 都心部において工場跡地やオフィス跡地が再開発され、居住機能を持つ高層マンションが増加したため。	1995年以降の都心部での人口増加は、バブル崩壊後の地価下落や土地利用の変化に伴う「再開発」が主な要因です。かつてはドーナツ化現象により人口が減少していた中央区などの都心部において、利便性を重視する世帯向けに大規模な住宅供給が行われました。これにより、郊外ではなくあえて都心に住むという人口の動きが鮮明になりました。
問12	答え 1 前橋市	群馬県の県庁所在地は前橋市です。都道府県名と県庁所在地名が異なる例は、関東地方では群馬県のほかに、茨城県（水戸市）、栃木県（宇都宮市）、埼玉県（さいたま市）、神奈川県（横浜市）などがあります。群馬県内では、交通の拠点である高崎市と、行政の中心である前橋市が混同されやすいため、正確に覚える必要があります。なお、宇都宮市は栃木県、水戸市は茨城県の県庁所在地です。
問13	答え 2 等高線が示す標高の値	断面図は、特定の地点間の地形の起伏（高さの変化）を視覚的に捉えるための図です。そのため、地形図上で標高の等しい地点を結んだ「等高線」を基準にして、各地点の標高をプロットしていく作業が不可欠となります。人口密度や道路の状況、流域面積などは土地利用や人文的な情報であり、地形そのものの起伏を示す断面図の作成に直接は関係しません。